

一般社団法人西新井法人会会長賞

「日本の良さにつながる税」

足立区立 扇中学校

三年 飯塚 椰月

私は税金とはとても素晴らしい制度だと思う。なぜならば私たちの生活は税金によって支えられているからだ。机などの公立学校の備品や警察署など私たちを支えてくれているものは税金によって支払われていると知ったからだ。このような税の制度を知り、他の色々な税について興味を持った。だから他にはどのような税があるのか調べてみた。そこで入湯税というものを知った。私はまったく入湯税のことを聞いたことがなかった。だから私は入湯税とはどのようなもので何に使われているかを調べてみようと思った。

入湯税とは、温泉などの利用客が利用料金と一緒に納める税金である。1人一日当たり百五十円となっている。ただしこの税金は十二歳未満の子どもの入浴については、入湯税はからないものとなっている。各区市町村で集められた入湯税は、観光施設の整備、鉱泉源の保護、管理施設の整備などに使われているということが分かった。また入湯税は税金の中の地方税の区市町村税に含まれていることがわかった。

このように入湯税として集められた税金を使って日本の観光業を盛り上げていることが分かった。もしこの入湯税がなくなるとどうなるのだろう。おそらく税金が足りなくなり観

光施設の整備や温泉の維持管理が難しくなるのではないだろうか。また観光業が衰えることで、外国人観光客が減少するかもしれない。もし入湯税がなくなってしまうと、このような出来事がおき、日本にとって不利益な状況になる可能性がある。

このことから、入湯税などの税金の大切さを知った。入湯税が導入された理由が、観光の振興で、観光業を盛り上げ、観光客の誘致や環境を整えるために作られた税金ということを深く理解することができた。

私は、学校で税金について学ぶ前は、税金が、どのようなものか分かっていなかった。だから、私は税金とはいらないのではと思っていた。だが、学校で税金について学び、税金が私たちの生活を支えてくれているのを知って、税金に感謝するようになった。また、入湯税について調べて理解することで税金への感謝がより一層深まった。だから私は税金とはとても素晴らしい制度だと思う。入湯税で観光業を振興させたり、公共施設の整備など税金が日本の良さにつながっている。だから私たちは私たちの生活を支えてくれている税金に感謝しながら、税金についての理解を深めていくことが大切だと思う。